

## 被災児童のキャンドル 1200 個 盛岡、9 日から雪あかり



「もりおか雪あかり2012」は9日から3日間、盛岡市内丸の岩手公園ともりおか歴史文化館を主会場に開かれる。被災した沿岸部の児童がメッセージを書いた紙コップのキャンドルアート約1200個を設置するほか、沿岸部から屋台も出店。恒例の市民ボランティアによる雪像とともに、震災からの復興と絆を雪あかりに託す。

メッセージ入りのキャンドルアートはもりおか歴史文化館前に設置する。宮古市、山田町、釜石市、大船渡市の17小学校の児童が事前に紙コップで作ったキャンドルアートを飾る。

紙コップには「日本中に笑顔の光がとまりますように」「宮古頑張れ」「幼稚園の先生になれますように」など古里の復興への願いや夢が、色とりどりに描かれている。同歴史文化館前では「三陸復興屋台村」として山田町や大槌町、陸前高田市の事業者が特設テントで営業する。

【写真＝「支援をありがとう」「バレーボールの選手になりたい」。被災地の児童の思いが描かれた紙コップ】

(岩手日報 2012/02/08)

[http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20120208\\_10](http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20120208_10)